

PRESS RELEASE



人と自然の共生実践フィールド【トヨタ白川郷自然学校】にて、

自然体験×デジタルプログラミング体験でソウゾウ力を育む 「デジタルガキ大将キャンプ」が 9月16日-18日 で開催。

■ “日本で最も美しい村で、人と自然の共生と実践”をスローガンにトヨタ自動車株式会社と、白川郷・五箇山の合掌造り集落が世界遺産に登録されている岐阜県大野郡白川村、公益社団法人日本環境教育フォーラムなどが協力し運営している「トヨタ白川郷自然学校」(〒501-5620 岐阜県大野郡白川村馬狩223 学校長:山田俊行)では、2023年9月より 自然体験学習 と デジタルプログラミング体験 を融合したカリキュラムで想像力を育み、参加者に冒険の場と機会を提供する 野外キャンプ「デジタルガキ大将キャンプ 2泊3日inトヨタ白川郷自然学校」を広く一般から募集し、実施いたします。

■ 「デジタルガキ大将キャンプ」は、デジタル領域での学びと自然体験領域での学びをバランス良く組み合わせることで、真のICT教育と生きる力を育むことを目指し、野外でのテント泊や自然体験活動を通じて、参加者に生き抜く道具として、火やナイフ、デジタルテクノロジーに向き合う思考を育むカリキュラムです。

■ 今の大人たちにとって、想像もできないAIが跋扈するシンギュラリティ後に、仲間とともに、先頭に立って新しい価値を創造して社会を支えていく人材が必要になることを見据え、子どもたちにデジタル体験を通じてプログラミング的思考(※1)やデジタルに向き合う態度、また自然体験を通じて身体性と五感の伴った想像力はもちろん、20年後の社会を見越して、テクノロジーと人と自然の知恵を結びつけ、新たな視点や創造力を持ち、未来の挑戦に仲間と立ち向かえる「デジタル時代のリーダーシップ」を育成することを目的としています。

■ これまで、火やナイフといった生きるツールに正しく向き合い、自律的に逞しく元気に生きていく思考や態度を身に付けていくことを理念として掲げ、自然体験学習の教育プログラムが培われてきました。この文脈に、この火やナイフやコンパスと並列で、生きていくツールとして 自然の中の活動を通じて “デジタル” を組み込み、テクノロジーに使われるのではなく、ツールとして使いこなす向き合い方や態度、生きる力としての「プログラミング的思考」(※1)の基盤づくりの場と機会を、自然体験を通じて提供していくことが、本キャンプの特長です。

※1:「プログラミング的思考」…自分が意図する一連の活動を実現するために、どのような動きの組合せが必要で、一つ一つをどのように組み合わせたらよい意図した活動に近づくのか、といったことを論理的に考えていく力のこと。文科省による「小学校プログラミング教育の手引き」では、「プログラミングそのものを学ぶこと自体がねらいではなく、それを通じて育まれる思考や態度の獲得」が重視されています。



【基本情報】

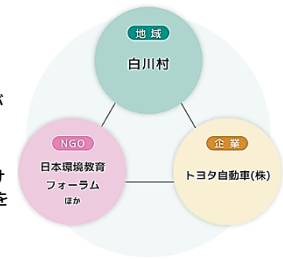
- ☑ プログラム実施: トヨタ白川郷自然学校 企画協力: にほんげんき株式会社
- ☑ 旅行企画・実施: NPO法人白川郷自然共生フォーラム (岐阜県知事登録旅行業第2-305号 (一社)全国旅行業協会会員)
- ☑ 会場: トヨタ白川郷自然学校 (〒501-5620 岐阜県大野郡白川村馬狩223)
- ☑ 実施期間: 2023年9月16日(土)~9月18日(祝・月) 2泊3日 ※雨天決行
- ☑ 募集対象: 小学3年生~6年生とその保護者(募集定員: 親子15組※お子様2名以上の参加可能)
- ☑ 参加費用: 2泊3日(朝食2+昼食3+夕食2付/テント1泊+ホテル1泊)
親子1組(子ども1名+保護者1名): 297,000円(税込) / お子様のみ参加は、ひとり148,500円(税込)
- ☑ お申し込み: トヨタ白川郷自然学校 申込WEB→<https://shirakawa-gogocamp.jp/camp/digigaki2023/>

【報道関係各位からのお問合せ先】

トヨタ白川郷自然学校 広報・企画営業部: 鷲見(すみ)
mail: t-sumi@f-ess.com
Tel: 05769-6-1185

にほんげんき株式会社 広報担当: 原山
mail: harayama@nihongenki.co.jp
Tel: 090-6190-4270

【トヨタ白川郷自然学校 TOYOTA Shirakawa-Go Eco-Institute】



- ✓ 自然環境に対する思いを深めるきっかけ作りの場として、2005年4月に白川村・環境NPOと連携し、開校。
- ✓ 白山国立公園を背に世界遺産合掌集落を眼下に望む山間で、「共生」をテーマとして掲げ、自然の営み・叡智からの学びを通じて、一人ひとりの人生をより豊かにするプログラムを提供しているフィールド&自然体験型宿泊施設です。
- ✓ またここは、持続可能な環境づくりを目指すトヨタ自動車株式会社が発表した「トヨタ環境チャレンジ2050」で、生物多様性の保全活動を進め、人と自然が共生できる社会づくり、持続可能な発展のための教育/人と地域と自然との共生「ToyotaESD(※2)」というトヨタ自動車株式会社の創業以来の理念を実現していくフィールドです。このフィールドそのものが、「次世代向け自然共生教育ツール」として、専任のインタープリター(自然案内人)が準備し、多様なプログラムやガイドツアーを提供。多くのファンが、ファミリーが、利用し、年間で白川郷に訪れる216万人(2019年白川郷役場統計データ)への受け入れとしても、地域に根ざした環境教育プログラムを充実させ、広く展開しています。近年はSDGsも意識し、より広い社会課題に対応した取り組みを入れていきます。

<運営>

NPO 法人白川郷自然学校
 (岐阜県環境教育推進事業第2-305号(社)全国行楽協会)

<基本情報>

〒501-5620 岐阜県大野郡白川村馬狩 223

TEL: 05769-6-1187 (受付時間 9:00-18:00)

FAX: 05769-6-1287

MAIL: info@eco-inst.jp

●累計来校者数約25万6,000人(2022年1月時点)

●年間来校者数約1万3,700人

●年間プログラム参加者数約1万2,600人

公式HP><https://toyota.eco-inst.jp/>



森で遊ぶ
 森に泊まる

※2: ToyotaESD Project (次世代人材への環境教育)⇒「未来へつなぐ」活動 Education for Sustainable Development(持続可能な開発のための教育)

■今回のガキ大将たちのメインステージは、自然学校から約1.5kmの場所にあり、「大窪の水芭蕉の群生」として白川村指定重要文化財に選ばれ、森の生き物たちのユートピアとなっている神秘的な山池と森「大窪池エリア」(〒501-5600 岐阜県大野郡白川村 馬狩 大窪池辺→<https://goo.gl/maps/teGqvozdq9TynAyW6>)。

池に流れ込むきれいな湧き水を汲みに探検へ出かけた後は、コンパスとロードメジャーなどの道具と身体を使い大窪池の周りで、実測とフィールド観察。現実のフィールドで方角や距離を測定し、植物や、魚、水生生物、昆虫などを見つけに行きます。これらの五感を通じて得た体験と情報はデジタルマップに反映させるためのベースとなります。その後、フィールドでの身体的な体験を通じて得た情報をもとに、学校教育の現場でも活用されている「スクラッチ」を使用して、フィールドで見つけた植物や昆虫のポイントを落としながら、プログラムを作成し、世界に一つしかない大窪池デジタルマップを皆でつくっていきます(※天候により、変更の可能性あり)。



■スタッフ紹介

●デジタルガキ大将 コーチングスタッフ 倉本 大資(くらもと・だいすけ/東京大学大学院情報学環特任助教)



「これから先の時代を生きる子供達の行く先、その世界はもはや私たちに想像もできません。そうした子らにずっと寄り添い、続けることはできないのだから、いかに生きる力を備えていくかは常に考え続けたいことです。本来の人類の活動のフィールドである実世界や人間の作り出した社会は、加齢的にデジタル上に、またメタバースと呼ばれる別の空間世界に広がり始めました。どのような環境であってもそこで受け身に消費する側として関わるより、モノ・コトを起こし作り出していく力や感覚を備え作る側に立つことを少しでも経験し、そうした未知の環境でも立ち向かえる力の源泉にしてほしいと考えています。デジタル環境と自然や野外活動は対比されることが多いですが、どちらも子供達にとって大切なフィールドであり自分たちでよりよい未来へ向けて変えていける、と考えます。」

●トヨタ白川郷自然学校インタープリター 大豆村 伸也(まめむら・しんや)



「デジタル環境が進む未来のためには、親子での旅、人との出会い、自然との触れ合い、質の高い体験を通じてリアルとのギャップを理解していることが大切！だからこそ、机にばかりついて学ぶだけでなく、自然の中での体験が必要であると考えます。また皆様の期待を超えられる時間を作り上げられるよう、精一杯関わらせていただきます。」

●トヨタ白川郷自然学校 学校長 山田 俊行(やまだ・としゆき)



「トヨタ白川郷自然学校が、現在、力を注いでいるプログラムのひとつが「こどもキャンプ」です。大自然の中に入り、異年齢かつ多様な出身や背景を持った子どもたちと一緒に過ごすことで、変化と多様性を尊重することの良さを実感していただき、さらに、自分で決めるということの楽しさや充実感が味わえるプログラムになっています。こどもキャンプは自然の大切さを教える場所だと認識されることがありますが、私は人間教育の場と考えます。その手段として森や自然を活用するので、森の持つポテンシャルに加えて、森でやるからこそ育つという付加価値。ICT教育も、本質的に行くと、同じはず。そこに、たくましい子どもに育てようという目標があったとき、教室より森のほうがいいじゃないか。外でやるほうが良いことは、外でやろうじゃないかと私は常々思っています。」

【報道関係各位からのお問合せ先】

トヨタ白川郷自然学校 広報・企画営業部・鷲見(すみ)
 mail: t-sumi@f-ess.com
 Tel : 05769-6-1185

にほんげんき株式会社 広報担当:原山
 mail: harayama@nihongenki.co.jp
 Tel : 090-6190-4270

活動スケジュール予定

【DAY1:9月16日(土)】

- ◇ 11:30 トヨタ白川郷自然学校に到着
- ◇ 12:00 岐阜県の郷土料理「けいちゃん」弁当で昼食
- ◇ 13:00 ウェルカムオリエンテーション&テント張り
- ◇ 14:30 デジタルプログラミング体験①
「スクラッチ(Scratch)」を使って「トヨタ白川郷自然学校 どんぐるみの森のデジタルマップ」を作ってみよう。
- ◇ 17:00 火おこし&ダッチオープンでピザパーティー! ~施設内天然温泉入浴
- ◇ 20:00 たいまつで明かりでわくわくナイトハイク。
- ◇ 21:30 歯磨き~消灯(テント泊)

【DAY2:9月17日(日)】

- ◇ 6:30 起床~朝食お弁当&ポトフ。
- ◇ 8:30 森の湧き水探検ハイキング(大釜池周辺へ出発~森が育てた美味い湧き水で、結うま豚汁をつくらう。
- ◇ 13:00 デジタルプログラミング体験②「大釜池デジタルマップをつくらう」フィールド編
大釜池探検路を歩き、軌跡を残しながら、魚、虫、植物を見つけてスクラッチ、画用紙で記録
- ◇ 16:00 トヨタ白川郷自然学校へ戻り、テント片付け~宿舎~入浴~夕食(レストランにて)
- ◇ 20:00 振り返りの会
- ◇ 21:30 歯磨き・消灯(ホテル泊)

【DAY3:9月18日(祝・月)】

- ◇ 6:30 起床~レストランにて朝食
- ◇ 8:00 片付け~チェックアウト
- ◇ 9:00 デジタルプログラミング体験③「大釜池デジタルマップをつくらう」デジタル編
各班で軌跡データ、観察ポイント、観察メモなどを整理~「スクラッチ」で軌跡データを元に、大釜池探検路のデジタルマップをつくります。
- ◇ 12:00 生まれも育ちも白川郷の「結うま豚」を使った豚丼でランチタイム
- ◇ 13:00 白川郷の暮らしの知恵を学ぶガイドウォーク&枝をロープに変えた「ねそねり」ねそねり伝習体験
- ◇ 14:30 さよならの会
- ◇ 15:00 帰路へ



デジタルガキ大将キャンプの領域

小学生パソコン教室
小学生プログラミング教室
の学習領域



アウトドアキャンプ教室
などの自然体験
学習領域



<デジタル環境へのリテラシー>

- ものの仕組みへの洞察やそれを操る技術、
眼には見えない本当の問題を見つけしていく能力・技術
- 今まで体験したことのないデジタル環境の中で
新しいものを生み出す知識・技術・スキル
- ICTスキル (Information and Communication
Technology)



<弱者としての生存戦略>

- 自分で課題を見つけ自分で考えて、
学んで主体的に判断し行動し
よりよく問題を解決する力
- 自律し、協調し思いやり感動する
人間としての感受力
- どんな環境でも、自分の能力を最大限発揮する
ステージを自ら作り上げていくための思考体力



動物たち、植物たちの生きる知恵を学ぶ

<豊かな人間性>

- 美しいものや自然に感動する柔らかい感性
- 正義感、公明正大、フェアを重んじるこころ
- 生命や人権を尊重する基本的な倫理観
●社会貢献の精神
- 仲間とともに、協力し合って
目標を達成するぶれない推進力



仲間と協力し、不便を楽しんで前へ進める

当日取材申込用紙

該当項目にご記入の上、9月1日(金) 18時まで にご返信頂けると幸いです。



TOYOTA Shirakawa-Go Eco-Institute

トヨタ白川郷自然学校

トヨタ白川郷自然学校 広報 担当 鷲見(すみ)

t-sumi@f-ess.com / Fax. 05769-6-1287

9月16-18日「デジタルガキ大将」取材会

ご出席

ご欠席

・媒体名 : _____

・御社名、部署名 : _____

・オンエア・掲載予定日 : _____

・代表者名 : _____

・ご取材人数 : ムービーENG 名 台 / ハンディ 名

_____ スチール 名 / ペン記者 名

・代表者ご連絡先(当日に連絡が取れる電話番号をご記入下さい) : _____

・メールアドレス : _____

・個別取材希望 : _____

・その他ご要望 : _____

【報道関係各位からのお問合せ先】

トヨタ白川郷自然学校 広報・企画営業部:鷲見(すみ)

mail: t-sumi@f-ess.com

Tel : 05769-6-1185

にほんげんき株式会社 広報担当:原山

mail: harayama@nihongenki.co.jp

Tel : 090-6190-4270